



ジャパンバードフェスティバル 2026 新たな取り組み ～テーマバード企画～

26回目を迎えるJBFは、鳥をテーマにした日本最大級のイベントです。行政・NPO・学生・市民団体などによる鳥や自然環境に関する研究・活動の発表、鳥の絵画・写真展、バードウォッチングやスタンプラリーなどを行います。また、今年から新たな取り組み「テーマバード企画」を開始します。

詳細はJBFホームページ(QRコード参照)をご覧ください。



▲JBF HP

■テーマバード企画とは？

絶滅の恐れがある鳥や保全活動により復活しつつある鳥などを“テーマバード”として選び、その鳥の実相を広く知っていただくことを目的とし、展示や講演などを行います。

■今年のテーマバードは「アホウドリ」

アホウドリは、人間による乱獲で絶滅寸前まで追い込まれました。しかし、山階鳥類研究所など関係各位の長年の取り組みにより、今年1万羽を超えるまでに復活しています。

手賀沼親水広場とアビスタ、山階鳥類研究所で、アホウドリを紹介する展示や講演を行います。知っていそうで知らなかったアホウドリという鳥を、来場されたたくさんの方々に知っていただくとともに、保全活動への理解が大きく広がることを目指します。



山階鳥類研究所 提供

■テーマバード企画のプログラム詳細

プログラム名	区分	実施日時	実施場所	プログラム概要
鳥学講座	講演	11月7日(土) 午後1時30分～ 午後3時	アビスタ 1階ホール	「アホウドリ：絶滅寸前から1万羽に回復」。無料。先着120人(申込不要) 講師：長谷川博さん(東邦大学名誉教授)
ステージ レクチャー	講演	11月8日(日) 午後0時～ 午後0時30分	芝生広場・ ステージ	山階鳥類研究所の研究員によるミニ講演アホウドリはどんな鳥かを紹介。

紙芝居	講演	11月8日(日) 午前10時～ 午前10時40分	アビスタ 2階 第1学習室	内山春雄さんオリジナル作品「アホウドリのヒナの紙芝居」を、内山さんご自身が上演。
テーマバード 展示コーナー	展示	両日		アホウドリの特徴や生態などを紹介するコーナー ※JBFテーマバード企画の趣旨も説明。
説明パネル「アホウドリってどんな鳥」			芝生広場・ 特設テント 内	アホウドリに関するQ&A。アホウドリはどんな鳥か、をわかりやすく紹介。
体験コーナー「ヒナのぬいぐるみを抱っこしよう」				ヒナと同じ重さのぬいぐるみでヒナの重さを体験
募金コーナー				・アホウドリの保護活動への寄付金を募集(山階鳥類研究所に寄付します) ・寄付した方にはアホウドリのスマホ待ち受け画像を提供。別途プレゼント企画あり。
塗り絵コーナー				アホウドリの塗り絵
デコイ(等身大模型)展示				・実際に保全活動で使用した等身大模型を設置し営巣地を再現。アホウドリの成鳥やヒナの大きさを体感。 ・アホウドリの帽子で記念撮影。
アホウドリ鳥凧展示			アビスタ西側エントランス天井	内山春雄さんが制作したアホウドリの鳥凧を設置。
アホウドリ写真展			アビスタ1階ホール前	野生動物写真家中村恵美さんが撮影したアホウドリの写真を展示
アホウドリ・フォトスポット			山階鳥類研究所1階	アホウドリの大型写真の前で記念撮影ができる。鳥島の立体模型(島内の営巣地の分布がわかる)も展示。

■JBF ー観る、知る、触れる、鳥を楽しむ2日間ー

日 時: 11月7日(土) 午前9時30分～午後4時

11月8日(日) 午前9時30分～午後3時

場 所: 手賀沼親水広場、水の館、アビスタ、手賀沼公園、鳥の博物館、山階鳥類研究所

※駐車場・道路の混雑が予想されます。できる限り公共交通機関をご利用ください。

※当日はJBF巡回バスを運行します。(1回200円※小学生以下無料)

我孫子駅南口→手賀沼親水広場→アビスタ→我孫子駅南口(15～20分間隔で運行)

※路線バスもご利用いただけます。

手賀沼親水広場会場…………「我孫子駅(南口)」乗車、「市役所」下車～徒歩約5分

アビスタ・手賀沼公園会場…「我孫子駅(南口)」乗車、「手賀沼公園」下車

■PRポイント

① 新たな取り組み「テーマバード企画」を始めます

② 日本各地から出展者が集います

北海道から沖縄まで、日本各地から約130のブース出展者が集まるため、日本各地の旬な情報が手に入ります。さらに、鳥グッズも多数販売されます。

③ 今年も海外から出展者がやって来ます

今年は、昨年も出店した台湾、モンゴル、上海に加え、シンガポール、コスタリカ、オーストラリアから団体が参加し、各地の自然や野鳥を紹介します。

④鳥好きにはたまらない講演会

第36回鳥学講座「アホウドリ：絶滅寸前から1万羽に回復」

第一線で活躍する研究者に研究や活動の面白さや醍醐味を分かりやすくお話しします。

日時：11月7日（土）午後1時30分～午後3時

場所：アビスタ1階ホール

内容：1976年には生息数が200羽未満だったアホウドリは、長年の保全活動の成果により、2026年に1万羽を超えました。これまでの道のりや最新の状況についてお話しします。

講師：長谷川博さん（東邦大学名誉教授）

共催：（公財）山階鳥類研究所、我孫子市鳥の博物館

山階鳥研 見にレクチャー

今年も山階鳥類研究所の所員が研究紹介を行います。

日時：11月7日（土）午前9時30分～午後4時（最終入場：午後3時30分）

11月8日（日）午前9時30分～午後3時（最終入場：午後2時30分）

場所：山階鳥類研究所 講堂

※午前9時15分より当日分の整理券を配布

※講演時間30分

全日本鳥フォトコンテスト講演会

審査員が、今年度の作品の総評とワンナップ撮影術についてお話しします。

日時：11月7日（土）午前10時30分～11時30分

場所：アビスタ 1階ホール

審査員：戸塚学さん、中野泰敬さん、中村利和さん

全日本鳥フォトコンテスト

JBF実行委員会主催の野鳥写真コンテストです。グランプリ作品には文部科学大臣賞（生態・行動部門）、環境大臣賞（環境部門）を授与するほか、協賛企業が企業賞を選出されます。

今年は全20作品が入賞しました。JBF 期間中、入賞作品と応募作品をアビスタミニホールに展示します。

応募数 ○生態・行動部門…209人、535点 ○環境部門…98人、239点

◎総数…307人、774点



文部科学大臣賞（生態・行動部門グランプリ）
「爽やかな水面を行く」
新目 巖さん（山形県在住）



環境大臣賞（環境部門グランプリ）
「群舞」
山下 福孔さん（千葉県在住）

⑤どなたでも楽しめるイベントが盛りだくさん！

手賀沼親水広場

- ステージイベント
- 各団体の出展ブース（展示・物販・飲食）
- 光学機器の展示・販売
- 湖畔バードウォッチング

水の館 ※当日はプラネタリウム無料

- 望遠鏡・双眼鏡体験
- 千葉県愛鳥週間ポスター展
- 触れる鳥の折り紙展示
- 各団体による講座及び講演会
- 我孫子市鳥の博物館友の会 野鳥写真展

アビスタ

- 全日本鳥フォトコンテスト講演会（1階ホール）※7日のみ
- JBF2026環境学会（1階ホール）※8日のみ
- ワイルドライフアート作品展「鳥に魅了されたアーティストたち」（1階ストリート）
- 写遊暈 写真展（1階エ芸工作室）
- 全日本鳥フォトコンテスト作品展（2階ミニホール）

手賀沼公園

○船上バードウォッチング ※事前申込制

鳥の博物館 ※当日は入館料無料

○企画展「身近な鳥の巣と卵」

○鳥の工作／鳥博クイズ／てがたん

【問い合わせ】

我孫子市環境経済部手賀沼課

担当 遠藤、村尾、芦澤、古島

☎04-7185-1484

ジャパンバードフェスティバル Japan Bird Festival 2026

11月7日(土) 9:30-16:00

11月8日(日) 9:30-15:00



NPO・学生・市民団体・行政からの鳥や自然環境に関する各地の情報発信。
鳥の彫刻展・絵画展・写真展や講演会、JBF環境学会、スタンプラリーや
船上・湖畔バードウォッチング、工作教室、鳥関連グッズの販売など、
鳥をテーマにした楽しいイベント、出展・出店が盛りだくさん！

人と鳥の 共存をめざして

- デコイ・パネル展示
- 講演 ほか

【新企画】
JBFテーマバード
2026・2027は アホウドリ



同時開催
全日本
バードカービング
コンクール作品展



全日本鳥フォトコンテスト



鳥のアート展



山階鳥研「見」にレクチャー

主催 ジャパンバードフェスティバル実行委員会

(公財)山階鳥類研究所 (公財)日本鳥類保護連盟 日本野鳥の会千葉県 千葉県野鳥の会
我孫子市鳥の博物館友の会 我孫子野鳥を守る会 日本雁を保護する会 日本バードカービング協会
(一社)日本望遠鏡工業会 (株)文一総合出版 (株)宣陽社 中央学院高等学校 手賀沼同好会
(一社)我孫子青年会議所 我孫子市商工会 我孫子市教育委員会 我孫子市



事務局：我孫子市役所手賀沼課 ※電話は 8 時 30 分～17 時にご利用いただけます。(土日祝祭日を除く)

TEL.04(7185)1484 <https://www.birdfesta.net>

開催日専用電話 090-9202-5165 090-9202-5166

アビスタホール
11/7(土) 全日本鳥フォトコンテスト講演会
鳥学講座「アホウドリ：
絶滅寸前から1万羽に回復」
11/8(日) JBF2026環境学会
アビスタ2Fミニホール
全日本鳥フォトコンテスト作品展



OMデジタルソリューションズ(株)、キャンノンマーケティングジャパン(株)、(株)ケンコー・トキナー、興和オプトロニクス(株)、(株)サイトロンジャパン、ソニーマーケティング(株)、ティアック(株)、(株)ニコンイメージングジャパン、ハクバ写真産業(株) (スワロフスキー・オブテック)、(株)ビクセン、(株)阪神交易 (Bushnell、SIRIUS、SIONYX)、富士フイルムイメージングシステムズ(株)、リコーイメージング(株)、(株)アーキサイト (セレストロン)、(株)コシナ、タイムテクノロジージャパン(株)、OWC ASIA Inc.、ヴィンダム(株)、(株)エツミ